

東北・北海道地区JA青年大会

主張、吉田さん(秋田)栄冠

活動実績、みやぎ仙南

東北・北海道農協青年組織協議会は18日、山形市で開いていた東北・北海道地区JA青年大会で、JA青年の主張発表大会とJA青年組織活動実績発表大会の結果を発表した。



組織活動実績発表大会で最優秀賞を獲得したJAみやぎ仙南の発表者の平間さん(18日、山形市で)



青年の主張で最優秀賞を獲得したJA秋田みなみの吉田さん(18日、山形市で)

菊農家の吉田さんは青年部に入り、先輩農家に栽培を相談し、品質向上につながったことを紹介。現在は、年間販売額1億円を目指す園芸メガ団地事業に組合長として参加し、先輩と同様に気軽に相談できる環境作りに努め、販売額を伸ばしている実績を報告。「青年部に入って本当に良かったなあと思う。誰もが憧れる秋田の農業を実践する」と訴えた。

JAみやぎ仙南川崎地区青年部は、平間百合子さん(45)が発表。東日本大震災後に途絶えた食農教育を16年度から復活させたことを紹介。これとは別に、農業へ関心を持ってもらうため地域の児童、生徒に看板のデザインを考えてもらい、部員で仕立てて通学路に飾っている活動を報告。「将来、1人でも2人で

も担い手として活躍してもらいたい」と話した。大会宣言では、18年産米からの米政策の見直しや国際貿易交渉など農業情勢が厳しい中、JAをよりどころに部員同士が連携を深め、豊かな大地と文化・伝統をつないでいく必要性を確認。部員一人ひとりが地域農業・社会の持続的発展へ行動するとした。創造的自己改革の実践に向けた特別決議を採択。農業、JAを取り巻く情勢は困難な時代を迎えこれまで以上に協同の力を発揮する必要があるとし、全ての組合員、役員と共に所得増大と生産拡大、地域活性化を基本とする創造的自己改革を着実に実践するとした。